

福祉、教育、まちづくり
心理学を、
市政に活かす



人と街、今と未来の 架け橋となる **前田あき**

人と街、今と未来の
架け橋となる

PROFILE

■修士（心理学） ■認定心理士 ■公共政策修士（専門職） ■防災士 ○昭和55年3月生まれ うお座 O型

[趣味]

旅行、読書（電子書籍利用中）、
野球観戦（西武ファン）、
音楽鑑賞
(クラシックからパンクまで、でも実は
谷村新司ファン)、
食べること



前田あき 後援会事務局 〒333-0842 埼玉県川口市前川3-52-10-201

TEL 050-5438-2214 FAX 050-3488-7635 メール mail.akimaeda@gmail.com タwitter @akimaeda17 HP http://aki-m.com

キャラクター「まえりす」

みんなで期日前投票へ行こう!! 4月15日(月)~4月20日(土)

右記投票場所の
どこでも
期日前投票できます。

※入場整理券が届いていない場合
や紛失した場合でも投票することができます。

[経歴]

- 1999年 東京学芸大学附属高等学校【卒業】
- 2002~2003年 イギリス ケント大学【留学】
- 2004年 日本大学文理学部心理学科【卒業】
- 2006年 日本大学大学院文学研究科 心理学専攻 博士前期課程【修了】
- フリーー経験後、IT企業にて新規事業開発等に従事
- 2009~2011年 TOKYO自民党政経塾 専門政治コース【4・5期生】
- 2010~2011年 自民党埼玉政治学院【1・2期生】
- 2014年 明治大学大学院 ガバナンス研究科 ガバナンス専攻【修了】

[議会歴]

- 2011年 川口市議会議員【初当選】
- 2015年 川口市議会議員
【2期目当選】
- 総務常任委員会委員長
(平成29年6月~現在)
- 環境経済文教委員会委員長
(平成27年6月~平成29年5月)
- 企業会計決算特別委員会委員長(平成30年)



期日前投票場所	受付時間	住 所
川口市役所	午前8時30分~午後8時	青木2-1-1 本庁舎
川口駅前行政センター	午前10時~午後 8時	川口1-1-1 キュポ・ラ4階
鳩ヶ谷庁舎		三ツ和1-14-3
新郷支所		東本郷944-1
神根支所		神戸6-1
芝支所	午前10時~午後5時	芝6247
安行公民館		安行原2174
戸塚公民館		戸塚東3-7-1

投票日 4月21日(日)午前7時から午後8時投票日は、**入場整理券の指定場所のみ** 投票出来ます

前田あき 未来政策

発達障害や不登校に悩む児童生徒への取り組み

発達障害やコミュニケーション不足に悩む児童生徒ための通級指導教室を市内に拡充します。また、不登校の児童生徒へのサポートとして適応指導教室の拡充や学校サポートを充実させます。

医療・福祉等の施設の充実

本市の特性を活かした地域包括ケアシステムの構築・運用に取り組み、居宅サービスと施設サービスのバランスに配慮しながら介護・高齢者・障がい者施設等の、必要な量の確保とサービスの質を高め、より一層充実を図ります。

川口市立医療センターの地域医療連携体制の充実

地域医療支援病院・高度急性期病院としての機能を強化し、必要な医師の確保に努め、災害医療体制・診療体制のシステムの迅速化を進めるべく医療センターの充実を図ります。待ち時間の短縮と断らない救急体制、窓口対応の質の向上を図ります。

災害発生時における避難場所・避難所の整備と強化充実

災害発生時において避難場所として指定される公共施設(学校・公民館・公園等)にマンホールトイレ、防災井戸の設置、女性専用の災害用集合トイレの整備拡充を強化します。また女性、災害弱者に配慮した避難所の運営、ペット受け入れ態勢の整備、紙おむつ等生活用品の備蓄の強化充実を図ります。

その他、福祉、教育、まちづくり等、広い分野で市政の改善を実行中!!

- 自転車安全利用条例の制定について
(平29.6)
→平成29年12月条例制定、平成30年4月から施行
- 市役所内における情報漏洩対策について
(平27.9)
→高度標的型攻撃対策事業の実施。
サイバー攻撃等から市民の情報を守る。

推薦のことば

自民党川口支部長 衆議院議員 新藤 義孝

「川口の新しい風」として

前田あきさんは、いわゆる地パン・看パン・カバンを持つことなく政治にかける想い一つで川口市政に飛び込んできてくれました。



今では市議会議員として、これまでの大学院や英国留学、自民党政治学院で学んだ知識やIT企業で勤めた経験を活かし、川口市の明るい未来づくりに向けた政策を積極的に提言し大活躍中です。

また女性ならではの視点から、子育て・教育支援の充実や女性の社会進出を応援する施策に注力し、市民一人ひとりが活躍できる街づくりに取り組んでいます。

前田あきさんの斬新な発想力と行動力は、川口市のさらなる成長につながると確信しています。「川口の新しい風」としてどうしても必要な方です。

あなた様には前田あきさん支援の輪を一人でも多くの方に拡げていただきます様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

川口市長 奥ノ木 信夫

「川口の元気」に必要な人



前田あきさんは、地域の皆様からの付託を受け、平成23年に初当選して以来、2期8年にわたり市議会議員として活躍して来られ、その間、環境経済文教常任委員会委員長、総務常任委員会委員長といった要職を務めて来られました。また、イギリス留学を経て研鑽を積まれた心理学に対する造詣の深さを活かし、児童の発達支援や虐待防止など、人の心に寄り添った提言を数多くされるとともに、人口が伸び続ける本市において喫緊の課題である、子育て支援、教育分野への積極的な取り組みなど、市政発展に対する貢献は誠に多大であります。周りの人を笑顔にする明るさと、親しみやすい人柄、そして若さあふれるパイタリティで積極的に市政に取り組む前田あきさんは、60万都市となった「中核市川口」が、これからも「更なる選ばれるまち」として発展し続けるために、欠かすことのできない優れた人材であります。是非とも皆様の力強いご支援を持ちまして、前田あきさんを引き続き市議会へ送り出してくださいますよう、切にお願い申し上げます。

市保健所の適切な運営と小児夜間救急医療体制の充実

保健衛生行政について総合的、かつきめ細やかなサービスが効果的に提供できるよう、市保健所を適切に運営します。また、子どもの急病時にも安心して医療が受けられるよう、小児・成人夜間救急医療の体制整備に努めます。

子育て・保育環境の更なる充実

待機児童解消に向け、施設整備を推進し定員の拡充を図ります。認定こども園移行への支援や保育士等の人材確保に努めます。

(仮称)子ども発達相談支援センターの新設

複雑化・深刻化する子どもに関する相談が増加傾向にある中、相談内容の多様化する「発達相談・療育」を支援するための「(仮称)子ども発達相談支援センター」の開設を目指します。

いじめ根絶に向けた取り組みの強化

議員提案により制定された「川口市いじめを防止するためのまちづくり推進条例」を適切に運用し、いじめから子どもたちを守るために、施設を推進します。

川口市立高等学校の更なる取り組み

中高一貫教育への準備と2020年から始まる入試改革に合わせ大学進学率の向上を目指すとともに、スポーツ面においては全国に通用する部活動の強化に取り組みます。

前田あき議会一般質問2期目の軌跡

教育

- 川口市立高等学校について
(平30.3)
→平成30年4月開校。
ひき続き、中高一貫校の創設に向けて検討中。
- 文化芸術振興について
(文化芸術振興計画について)
(平30.3)(平29.6)
→文化財寄贈の受け入れ体制づくりを含め、美術館建設の検討

子育て支援

- 子ども発達支援センターについて
(平30.3)
- 子どもの発達支援について
(平29.6)
→子ども発達支援センターの設置へ向けて、前向きに検討中
- 発達に課題のある子どもへの支援体制について(平28.9)
→平成28年度から「発達相談窓口」を開設。
- 放課後児童クラブの利用時間拡大について(平27.9)
→18:30~19:00まで、延長利用の実施へ。

保育園・待機児童対策

- 保育事業の充実について
(平29.6)(平28.9)(平27.9)
→保育人材確保をはじめ、幅広く改善中。
- 女性特有のがん検診の対策について
(平29.6)
→がん検診が2月まで受けられるよう。

地域振興

- 商店街支援について
(平28.9)(平27.9)

AI・IoTを活用した防災・危機管理体制の高度化

AI・IoTを活用し、応急対策活動に必要な情報(被災状況、支援ニーズ等)を国や県、他の自治体間においてシステムで連携し、リアルタイムに共有することにより、大規模災害時の広域応援がスムーズに図れるよう、国や県に働きかけを行っています。防災・危機管理体制・業務に関する計画などについて電子化・共有化することによる高度化を図ります。

商店会活性化策の充実

特色のある商店会となるよう様々な施策を検討するとともに、商品券事業や川口ポイント事業等による商店会の活性化策を充実させます。

市税等歳入確保の取り組み強化

市民サービスの充実と負担の公平性を確保するため、国民健康保険税を含む市税や介護保険料など、収納率のさらなる向上に努めます。また、使用料や貸付料など債権の管理を適正に行い、未収金の回収に努めます。

財政状況の「見える化」

ICTによる公会計システムを活用して、効率的な財政運営を推進するとともに、財政状況の「見える化」により、市民への説明責任を果たします。